広報 あま 海士

◆編集発行　島根県隠岐郡海士町役場
TEL (08514) 2－0111
◆印　刷　信栄堂印刷(海士町菱浦)
Eメール:info@town.ama.shimane.jp

平成16年 5 No.384

町の人口世帯数

総人口	2,535人(－9)
男	1,192人(＋2)
女	1,343人(－11)
世帯数	1,091世帯(＋1)

住民基本台帳(4月末現在)
( )内は2月末との比較

＊＊＊桜花爛漫＊＊＊

今年で19回目を迎える隠岐島綱引き大会が隠岐神社外苑で行われ、町内外から350名が参加。写真は、女子の部優勝決定戦（3本引き）の様子です。3連覇をねらう隠岐島前高校と3年ぶりの優勝をねらう東さわやかの勝負には場内から歓声が湧き上がる名勝負となりました。

今年も町内外からたくさんの方が訪れ、交流が深まった一日でした。

(関連記事　P 13)

主な内容

- 平成16年度施策方針…… 2～4
- 構造改革特区…… 5
- 平成16年度当初予算等…… 6～11
- 町の話題…… 12～15
- 議会だより…… 16～19
- 教育だより…… 20～21
- 隠岐島前高校だより…… 22
- 戸籍の窓…… 24

町政の経営指針　自立・挑戦・交流　～そして限りなき前進～

平成16年度行政施策方針

「ふるさと再生元年」にあたり
海士町の生き残りをかけた事業展開を！

国、地方の財政状況

国を始め県から市町村に至るまで地方自治制度始まって以来の財政危機に直面し、特に当初の予測を大きく越えたいわゆる「地財ショック」は、小規模町村を直撃して、本町でもこのままの状況が続けば財政破綻という緊急事態に陥り、短期間で財政的な効果を出さなければ、財政再建団体という国の管理の下におかれることとなって、地方自治体としての存在そのものが失われることになりかねません。

本町の極端に進行した過疎・少子高齢化に加え、財政悪化によるこの苦しい局面を乗り切るためには、先例を打ち破る勇気と挑戦する覚悟が、いま強く求められると共に、徹底した行財政改革を進めながら産業振興と人口施策、いわゆる定住対策に取り組む体制を構築することが、緊急且つ最大の政策課題となってきました。

本町の財政事情

島前3町村の合併は時期尚早として、それぞれに単独の道を歩む決断をしたところですが、その後昨年末に決定された平成16年度の国の地方財政対策は、地方交付税制度始まって以来の「地財ショック」ともいえる衝撃的な内容でした。県下市町村への影響額は、平成14年度末財政調整基金及び減債基金残高のほぼ4割にあたる175億円と試算されており、本町の中期財政計画においては、島根県の指導により平成16年度に6千万円～7千万円の交付税の減を見込んでおりましたが、この影響で更に1億円前後の減額が予想される非常事態となりました。この大幅な削減は、地方の予算編成と中長期的な財政見通しに重大な支障をもたらすものであり、極めて遺憾であります。しかしながら、地方交付税の削減傾向は今後も続くものと見込まれ、従来の取り組みを行うだけでは、ここ数年のうちに財政再建団体に転落することさえ危惧されるところであります。

このため従来にも増して、徹底した行財政改革により、地方分権にふさわしい簡素で効率的な行財政システムの確立と効率的で持続可能な財政への転換を図ることが急務となっております。特に、行財政改革については、具体的な数値目標を立てて改革を着実に実行し、また、財政状況の悪化を打破するため、引き続き公債費負担の適正化に取り組むと共に、一般廃棄物処理手数料の改定等町民に負担を求めるにあたり、自ら率先して人件費の抑制に取り組む必要があり、現在行っている常勤特別職の給与カットを更に増額し、町長30％カット、助役、教育長20％カットとし、管理職手当の20％カットも引き続き実施して参ります。また、職員の給与については、5％カットで条例改正案を本会議に上程しておりますが、地財ショックの影響により更に大幅な削減を余儀なくされております。

こうした状況の変化を受け、組織のフラット化と産業創出を急ぐための機動的な体制づくりを目指した機構改革を行いました。また、町政の経営指針である「自立・挑戦・交流～そして限りなき前進～」を実現するための諸施策とその財源捻出について、短期的な即効性のある対策と中長期的な対策の両方を盛り込んだ「海士町自立促進プラン」策定に向けて、民間有識者、議会議員、職員を構成メンバーとする研究会議を行っているところであります。

従って、平成16年度各会計の当初予算案の編成は、限られた財源を、産業の振興等地域の重要課題に重点的に配分し、各事業については、中期財政計画に計上した事業を優先したところですが、まもなく取りまとめる自立促進プランに基づき、国庫補助金や県補助金の削減内容と7月の交付税算定の結果が明らかになるまで執行を留保する事業も出てくることも考えられます。

各課の取り組み

＝総　務　課＝

●情報政策

平成15年度に総務省の事業である「eまちづくり事業」を導入し、航空写真をデジタル化したものをベースに、町の自然・文化・伝統芸能や町民の暮らし・風習等を写真や映像で保存しました。これを海士町のホームページで町民

がいつでも閲覧できるようにし、文化の伝承を図るもので今後更に多くの情報を取り入れ全国に情報発信することで、交流人口の拡大を図り、町の活性化に繋げたいと考えます。

●防災関係

平成15年度に防災行政無線を新設整備し、新たな組織機構のもと防災体制の再編成を行うと共に、効果的な防災訓練を実施すべく準備中です。

●広報公聴活動

行政の情報発信の中心となる町広報「海士」も総合情報紙として定着してきており、本年度はこれをホームページに載せることで、的確でタイムリーな情報を、より多くの出郷者の方々にも提供していきます。

また、平成16年度は改革による「ふるさと再生元年」であるとの考えから、早い時期に町政座談会を開催し、町の現状と今後の事業計画や諸施策について説明し、町民の皆様と共に「まち」が一体となってこの難局を乗り越え、自信を持って将来に光明を見いだすべく取り組んで参ります。

＝健康福祉課＝

本町の人口が年々減少し、高齢化率は、2月末現在37・85％となっており、極端な少子高齢化が顕著に表れています。こうした現状の中、高齢者及び障害者等への福祉の向上を図るため「特別養護老人ホーム諏訪苑」の大規模改修及び短期入所施設の9床増床、痴呆性老人グループホームの9床新設を行い4月より開所致します。更に、昨年11月に設置した「海士町住みよいまちづくり計画」策定委員会及び検討委員会において、住民アンケートなどをもとに、エンゼルプラン、障害者プラン、市町村地域福祉計画の改訂作業に入っており、平成16年度の策定を目指します。

●保健衛生関係

第三次総合振興計画のシンボル事業である「健康が一番事業」の更なる展開と糖尿病対策等を盛り込んだ「健康海士21推進計画」の実施により町民の健康づくりを推進して参ります。

＝生活環境課＝

「海士町環境美化条例」をもとに、不法投棄の防止など環境美化対策に努め、また、清掃センター、リサイクルセンター、最終処分場等の運営の効率化を図って参ります。簡易水道については、多井・崎地区簡易水道施設の老朽化に伴い、「電気施設、ろ過施設、ポンプ」等を整備します。

＝建設課＝

●港湾事業

海士港（先灘地区）の港湾環境整備において「突堤」の捨石投入、新規採択を受けた保々見港改良事業においては測量・設計委託と一部捨石投入を実施します。

●漁港事業

菱浦漁港については、集落環境整備事業で「4号集落道路」の整備。また、高石漁港については、ケーソン2函と被服ブロックの据付けを実施すると共に、ブロック据付けに際し、本町で生産している「ツルアラメ」をブロックに取り付け藻場の再生を推進します。宇受賀漁港については、総合整備の一環として沖防波堤・集落道路2路線・防災事業・舗装等を実施し、集落排水については、16年4月より供用開始を致します。

●下水道事業

16年度は中里・福井の両地区及び海士港への管路布設と汚泥処理施設の設計・工事等を実施して参ります。なお、宇受賀区の下水供用開始に伴い、東・中里両区の一部が新たに供用開始となります。特定地域生活排水処理事業（合併浄化槽）についても、引き続き15基の整備を実施する予定です。

●道路整備

御波・西郷の「ふるさと農道」整備では、トンネルを含む全線一括工事発注の運びとなっています。また、日須賀から崎方面への県道バイパス路線整備は引き続き島根県と綿密に連携し早期採択に向け取り組んでいきます。

●林道開設事業

引き続き「家督線」と「宇津屋線」の整備に努めます。なお、「家督線」については、今年度完了を目指しております。

●地籍事業

「知々井2地区」の調査・測量及び「海士8地区」の一筆調査を実施します。

今年度4月から
広報海士をホームページで掲載しています。
ご覧になってみて下さい。
アドレスは・・・
http://www.oki-ama.me.jp/

＝産業関係＝

「ふるさと再生元年」にあたり、自立を目指す産業振興の新たな展開として、キンニャモニャセンターに産業振興と定住促進を目的とした、地産地商課、産業創出課、交流促進課の産業3課を配置し、海士町の生き残りをかけた事業展開を一体的且つ強力に推進します。

産業振興戦略としては、「海」「潮風」「塩」の三つの地域資源を有効活用した農林水産及び関連産業の新たな展開を図るため、島民一体となった地域活性化に向け2軸体制で強化戦略を起動させ、数値目標を掲げながら目的達成に向けた事業展開を図ります。

▲強化軸1

キンニャモニャセンターを「核」とした農林水産物等の販売による内需拡大と、民謡キンニャモニャや島うたの全国発信や消費需要を確実に掴むことによる地産地消と交流人口の拡大を目指します。

▲強化軸2

サザエカレー、いわがき「春香」に続く、「海士の塩」づくり、「凍結システム」による商品づくりにより、全国展開と外貨獲得を目的とした加工商品づくりを目指します。

具体的な施策としては、新産業によるリーディング事業として、流通と生産における離島のハンディを克服するため、細胞を壊さずに凍結するCASシステムを導入した農林水産物加工施設を整備し、素材の鮮度の長期保持をすることで、生産・出荷調整や加工による高付加価値商品を製造することが可能となります。

また、手作りの天然塩「海士の塩」の精製施設を整備し、これを生かした高付加価値産品づくりを進めます。

CASで処理された商品の試食イベント

＝交流促進課＝

●定住関係

本町の最重要課題の一つである人口施策（定住対策）に積極的に取り組むため、平成16年度新たに定住係を配置しました。

「ひまわり団地」については、平成15年度に引き続き定住促進住宅を建築すると共に、住宅用地の販売に努めます。併せて、ふるさと島根定住財団の「空き屋活用事業」を活用し、住宅の確保に努めて参ります。また、平成15年度から導入した中山間地域定住促進緊急事業にも引き続き取り組み「キンニャモニャセンター」を核にして、体験や定住に関する的確な情報提供に努め、交流人口・定住人口の拡大を図ります。

●観光関係

観光客入り込み数の減少傾向に歯止めをかけるため、「見る観光」から「感動体験型の観光」への転換を図ります。本町が誇る歴史、文化、景観等恵まれた資源を活用した、独自の体験型観光事業である「俳句、和歌の吟行ツアー」、「隠岐島綱引き大会」「キンニャモニャ祭り」、「小泉八雲没後100年記念事業」、島前3町村共催の「第2回とって隠岐ツーデーウォーク」等、集客増に繋がるイベントを積極的に実施します。

また、本町の「やる気」とマンパワーの集結ともいえる「海士町千本桜構想」については、本年度も町民各位のご支援・ご協力いただきながら積極的に取り組み、「桜」の名所づくりを着実に進めていきます。

＝教育委員会＝

●学校教育関係

学校教育係に新たに嘱託教育指導員を配置し、学校や児童生徒、保護者への支援を行うべく一層の強化を図ります。

●社会教育関係

従来の中央公民館を中心とした生涯学習事業を見直し、「それぞれの地区、地域こそが社会教育の現場である」との認識に立って学習する能力と意欲を身につけるための地域住民の主体的な取り組みや、心豊かな人生を築いていくための各地域の様々な自主活動を奨励し、それを積極的に支援する形へと変えていきたいと考えており、教育委員会・中央公民館の機構を一部改革し、「ふるさと振興係」を新たに設置しました。

＝診療所関係＝

経営の合理化に努めて参りますが、定住対策を進める上でも医療の充実は重要な要素であり、医療サービス低下とならないよう、安心して受診できる体制づくりにも気を配り、また、引き続き訪問看護の充実も図っていきます。歯科診療所については、就労者の受診率が低いことを踏まえ、受診率の増加に繋がるサービスの向上を図っていきます。

構造改革特区

島根県下で5件認定受ける！

～潮風農業特区～

(有)潮風ファーム参入

国は、特定地域に限って規制緩和する構造改革特区の第4次認定を行ない、島根県下から初めて5市町村の計画を認定しました。その中に海士町が申請した『潮風農業特区』があり、3月24日東京（首相官邸）で行われた授与式に山内町長が出席しました。

◆構造改革特区とは・・・

経済、教育、農業、社会福祉等の分野では規制が厳しく、民間企業がその分野に参入するのは難しいのが現状です。構造改革特区は、そうした規制を地域限定で緩めることにより民間企業のビジネスを広げたり特色ある町づくりを進めるようにする制度です。

◆特区の種類

全国には、教育特区、農業特区、生活福祉特区などがあります。

◆海士町の特区について

農業には農地法という規制があり、民間企業が参入する場合、田んぼや畑などの農地を利用した農業生産はその規制にそった法人しか行うことができませんでした。しかし、この度の認定により、海士町全域を農業に関する特区『潮風農業特区』とし、建設会社等の民間企業が農業へ参入することができるようになりました。

◆特区の導入による効果は？

まず、企業が農地を利用した農業生産を行うことが可能となるため、建設会社等の民間企業が農業へ参入することができるようになり、後継者不足の問題を解消、また雇用の場の確保にも繋がります。

この『潮風農業特区』の指定を受け、すでに農業参入が決まっている有限会社『隠岐潮風ファーム』(代表　田仲寿夫　平成16年1月15日設立)が農業全般（畜産・堆肥・農業）にわたり事業を行います。畜産部門では遊休農地を借り受け、飼料作物の生産や繁殖から肥育までの一貫経営を行います。堆肥部門では、畜産農家や自社から出た牛糞と廃材等から堆肥を製造・販売することとなっています。

また、農業部門では、遊休農地を借受け、水稲、園芸作物、飼料作物の生産を行う予定です。現在、海士町では、農業従事者の高齢化と後継者不足が課題となっていますが、『潮風ファーム』の参入により解決に繋がるものと期待されます。また、安定的な農業生産が可能になれば、農家の減少によって現在使わなくなった田圃や畑などを有効利用することにも繋がります。

地元の安全で安心できるお米や野菜を地元で消費する、いわゆる「地産地消」も今後ますます盛んになることと思われます。**その中から新しい特産品が生まれるかもしれません。今後、海士町の農業の活性化が大いに期待されます。**

平成16年度町の予算

一般会計予算　46億4,901万円　（対前年度比　1.20%増）
特別会計予算　21億7,928万円　（対前年度比　6.11%増）
計　68億2,829万円　（対前年度比　2.71%増）

町の予算について

平成16年度の海士町の予算が３月議会で承認されスタートしました。

今年度の予算を前年度と比較すると、一般会計は５，４９３万円、特別会計も１，２５４万円の増額となっています。今年度増加の大きな要因は将来の海士町の行方を大きく左右する産業振興戦略の核となる農林水産加工施設整備（ＣＡＳ）と塩精製施設整備です。

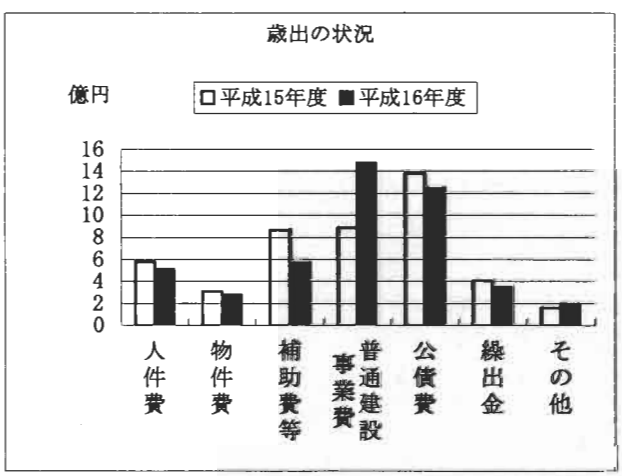
長引く不況の影響で国も地方も財政悪化の一途を辿っており、今回の地方交付税の大幅な削減（地財ショック）により、従来のやり方では、数年のうちに財政再建団体に転落することも危惧されます。

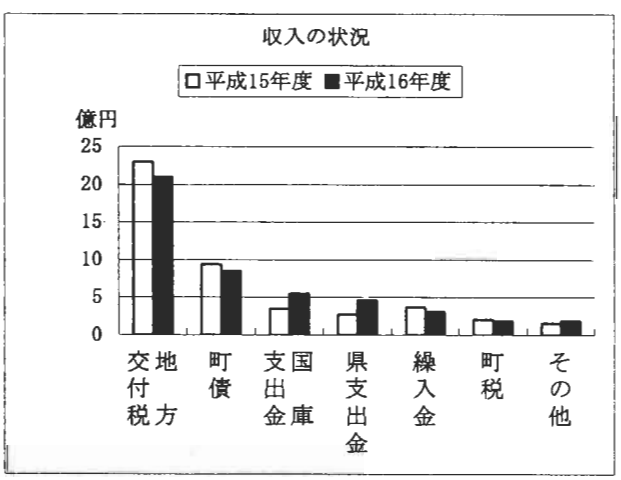
残り少ない基金を（貯金）有効に活用し、海士町の生き残りを賭け、「攻めと守り」の政策を積極的に実施する予算編成となっております。

人件費の節減と給与の適正化について

財政破綻を自主的に回避するため、緊急措置として次のことを決定しています。

特別職報酬（町長）	３０％	カット
特別職（助役・教育長）	２０％	カット
議員報酬	２０％	カット
職員給与（管理職）	２０％	カット
職員給与（一般職）	５％	カット
教育委員報酬	２０％	カット
退職者不補充	５名	





＜歳出＞

普通建設事業が前年度に比べ５億8,966万円増えて14億7,622万円となっているのは、農林水産加工施設整備（CAS）３億7,020万円、塩精製施設整備8,431万円が今年度の新規事業として計上されていること。また補助費等が大きく減っているのは、昨年度諏訪苑施設整備の補助を行っていたためです。これらが、歳出の増減の大きな要因となっています。

一方、過去に行った建設事業に伴う借金の返済である公債費が、前年度より１億2,543万円減となっているのは、年々増え続けているこの公債費を抑えるために、平成15年度において一般会計２億2,774万円、特別会計529万円の繰上償還を行ったためです。町では、公債費の増加、地方交付税の削減に対処するため、特別職、一般職給与、議員報酬等の大幅カット、職員数の削減、負担金・補助金や事業の見直しなど経費削減に努めています。

２１世紀も「町民が元気で、明るく、いきいきと安心して住める海士町」であり続けるため、更なる行財政改革と産業振興を図っていかなければなりません。

＜歳入＞

地方交付税は、歳入全体の45%を占めていますが、景気の低迷、三位一体の改革などから増収は期待できません。また、国及び県からの補助金などは前年に比べるとやや増額となっていますが、これは歳出の普通建設事業費に伴う補助金が増額となったためです。

一方、町税収入はわずか4%であり自主財源に乏しく、国や県に大きく依存した歳入予算となっています。

地方交付税：国税のうち法定５税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）をそれぞれ一定割合の額で、地方公共団体が自治体間の財政格差を埋め、一律な公共サービスの提供を確保するため、国税の一部を交付する税（資金）をいう。

臨時財政対策債：地方交付税の減額分を補填するために特別に認められた自治体が発行する起債（借金）。

基金：町の貯金。財政調整基金、減債基金、そして目的ごとに積み立てた基金などの合計額。

予算の主な使い道（一般会計）

議会・総務費　4億8,122万円
～行政サービスと定住対策を～

議会費……5,553万円
空き家活用助成事業……300万円
定住促進住宅整備事業……3,196万円
文書広報費……251万円
生活路線バス補助金……3,450万円
島前内航船運航負担金……2,864万円
戸籍住民登録費……776万円
住基ネットワーク費……316万円
地域情報施策費……1,127万円
電子計算費……2,050万円
地籍調査委託料……526万円

農林水産業・商工費　13億3,509万円
～生産性豊かな暮らしを～

都市農村交流センター管理費……474万円
農業振興補助事業……3,728万円
畜産業費……530万円
県営ふるさと農道事業負担金……2,000万円
中山間地域総合整備事業負担金……1,700万円
島前森林復興公社負担金……810万円
森林早期回復事業……300万円
林道開設事業……7,696万円
菱浦漁港漁業集落環境整備事業…1億2,500万円
宇受賀漁村総合整備事業……2億円
高石漁港地域水産物供給基盤整備事業…1億7,000万円
菱浦漁港地域水産物供給基盤整備事業……3,000万円
農林水産加工施設整備事業(CAS)…3億7,020万円
塩精製施設整備事業……8,431万円
観光費……2,821万円
特産品開発事業……1,760万円
キンニャモニャセンター管理費……1,154万円
カレッジ開講事業……1,220万円

その他の歳出　14億3,135万円

労働費……9万円
公債費……12億5,483万円
諸支出金……1億7,043万円
予備費……600万円

民生・衛生費　7億5,659万円
～福祉・健康そして環境を～

社協運営費補助金……1,035万円
老人ホーム入所措置費……3,865万円
児童福祉費……8,981万円
居住施設運営委託費……1,491万円
介護支援センター委託費……832万円
デイサービス事業委託費……630万円
広域連合（島前病院分）負担金……568万円
広域連合（介護保険特別会計）負担金……4,977万円
隠岐広域連合(更正・授産施設)負担金……7,418万円
老人保健事業……1,143万円
保健センター運営委託費……1,226万円
斎場運営費……428万円
清掃センター運営費……4,704万円
リサイクルセンター運営費……1,425万円
支援費制度……6,541万円

土木費・消防費　4億2,246万円
～快適な暮らしと安全を～

町道保々見線舗装改良工事……2,900万円
県道整備事業(海士島線)負担金……1,400万円
先灘地区海岸環境整備事業……1億円
保々見港海岸事業……7,000万円
急傾斜崩壊対策事業負担金……550万円
常備消防運営費負担金……8,308万円

教育費　2億2,230万円
～学校教育・生涯学習の推進を目指して～

小学校費……2,013万円
中学校費……1,901万円
外国青年招致事業……537万円
公民館事業費……683万円
学校給食費……3,633万円
通学バス運行費……1,149万円
文化財保護費……5,090万円

特別会計　21億7,928万円

国保事業勘定特別会計……2億9,362万円
国保診療施設勘定特別会計……3億5,132万円
国保歯科診療施設勘定特別会計……4,595万円
キンニャモニャセンター特別会計…5,883万円
老人保健特別会計……4億7,033万円
下水道特別会計……6億8,347万円
簡易水道特別会計……2億7,576万円

～限られた財源を有効に活用し、最小の経費で最大の効果を上げるよう、予算の適正な執行に努めていきます～

「自立・挑戦・交流～そして限りなき前進～」

海士町自立促進プラン　概要

海士町自立促進プラン研究会議
海士町役場経営会議

海士町ふるさと再生元年

● 背 景

海士町では、極端な過疎・少子高齢化の進行する平成の時代において、第２次総合振興計画や景気対策に伴う事業を積極的に展開してきたため、公債費（借金の返済）が急増し、平成１１年度の中期財政計画では毎年度約２億円の財源が不足し、平成１４年度には基金が底をつき赤字団体へ転落する危険性が予測された。このため、平成１１年度には財政改革「やるぞ計画」を策定し、平成１４年度に約１億９千万円の削減実績を上げ財政再建団体転落と起債発行の制限を回避しました。

しかし、地方交付税（臨時財政対策債含む）の大幅な削減［地財ショック］により、平成１６年度からの状況が一変し、これまでの歳出急増に伴う危機に、更に歳入減少を伴う危機が加わる緊急事態となりました。

● 行財政改革・人口施策・産業施策

単にその時々の収入減少に見合った支出の削減だけでは、この厳しい状況を打開出来ないのは明白であり、人口施策［定住対策］及び産業振興への投資を取り入れた『攻めと守り』の総合的な行財政改革の実行が絶対となりました。

平成１６年度を「海士町ふるさと再生元年」と位置付け「自立・挑戦・交流～そして限りなき前進～」という町政指針に基づき、行政を「自助・互助・公助の３つの助け合い」を機軸とした健全なバランスに再構築し、住民と行政が一体となって「明るく元気に活き活きと安心して住める海士町」の創造が命題であります。

短期戦略　［行財政改革］の考え方
～ 先憂後楽（せんゆうこうらく） ～

■突然の地財ショックは、全国の都道府県、市町村に深刻な影響を及ぼしています。海士町においても、数年後には財政破綻という緊急事態であり、財政的な効果を短期間で出さなければ財政再建団体（国の管理下で財政を更生）となり、地方自治体としての存在そのものが失われる可能性があります。

■離島である海士町は、財政再建団体になると事業の縮小・廃止による人口の島外流失は免れず、町の荒廃は必至です。

■住民と行政が一体となってこの危機に立ち向かい、まず財政破綻を緊急回避して、自立のための条件整備としてスリムで柔軟な行政システムを目指します。

単年度 絶対削減額
１億５千万円

概 要

第1　人件費の節減と給与の適正化

●職員給与の削減 ●職員数の削減●勤務評価制度導入

第2　業務の効率化

●事務事業　●民間委託　●広域事業

●外部団体等組織活動の見直し

第3　負担金・補助金の見直し

●広域事業の負担金　●町補助金

第4　町有財産の財源化

●町有財産の販売・レンタル

第5　公共料金、受益者負担金

中期戦略　［人口施策］の考え方
～住民と行政の共動による新しいまちづくり～

■「真の豊かさとは何か」、「海士町の魅力とは何か」など原点を見つめ直すことからスタートし、海士の人々が育んできた優しい互助精神と、島外の息吹とのマッチングが重要なテーマです。

■人口の減少は、町民の生活基盤を浸食し、海士町を破壊する深刻な問題であり、この「減少が減少」を加速させる流れを、「増加が増加」を生む方向に町民・行政あげて取り組むとともに、行政の機軸は人口（町民）であることを再認識し、職制の壁を乗り越え総力を結集する必要があります。

■１００人の人口創出（平成１６年３月末現在 2,514 人）

平成17年10月・国勢調査実施時　目標人口
2,600人

概 要

第1　定住対策

●不動産マーケット

①団地造成方式から、個性のある個別分譲方式の検討

②一極集中型から各集落の特性・景観を活かした物件創り

③広い宅地と高品質な分譲住宅の販売

●廃屋処理と跡地の商品化

防災・景観・観光等の影響も含め廃屋を解体し販売する。民間・行政共同のプロジェクトチームを発足させ、英知を結集し実現を目指す。

●中高生の島外流出

隠岐島前高校は、海士町にとって文化的・経済的に計り知れない効果をもたらしており、存続のための対策をとります。

●生活インフラの整備――通信インフラ、ショッピング

●住みやすい環境づくり――結婚、出産、子育て

「地財（地方財政計画）ショック」とは?

地方財政計画とは、国の翌年度予算編成にあわせて、地方の歳入歳出規模を示すもので、海士町などの地方自治体は、この計画をもとに、地方交付税などの収入を見積もり、具体的な予算編成を行います。

平成１６年度の地方財政計画は、３年連続の減額となり、特に地方交付税（臨時財政対策債含む）は１５年度に比べ、１２％（２兆８６２３億円）も削減されたことが、「地財（地方財政計画）ショック」といわれ、地方自治体の財政運営に大きな影響を及ぼしています。

国の平成１６年度予算は、「改革断行予算」という基本路線を継続し、三位一体改革などを進め、総額８２兆１１０９億円の規模となりました。国と地方の税財政改革である三位一体改革は、国と地方の財政構造を抜本的に改革しようとするもので、次の三つを柱としています。

①	国の補助金・負担金の削減　・・・・・・	4,749億円減
②	税源移譲（法人税・所得税等）　・・・・	6,558億円増
③	地方交付税の見直し（１２％削減）　・・	2兆8,623億円減

平成１６年度は、これまでにない厳しい予算編成を地方に求める結果となりました。

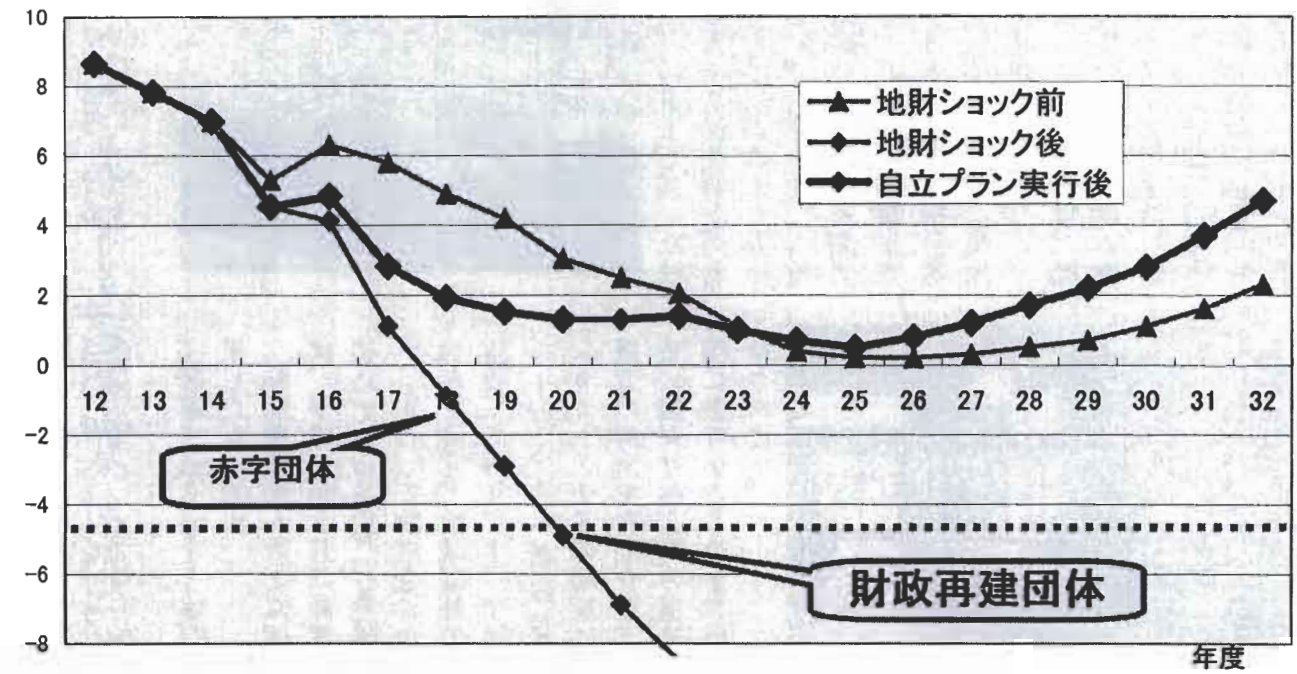
海士町への影響額（当初予算見積）

税源移譲（法人税・所得税等）	４５０万円	増額
地方交付税の削減影響額（前年比較）	２億３，０００万円	減額
島根県財政悪化による交付金等削減の影響額	４，５００万円	減額＋α

合計　２億７，９５０万円の減額

海士町自立促進プランの策定

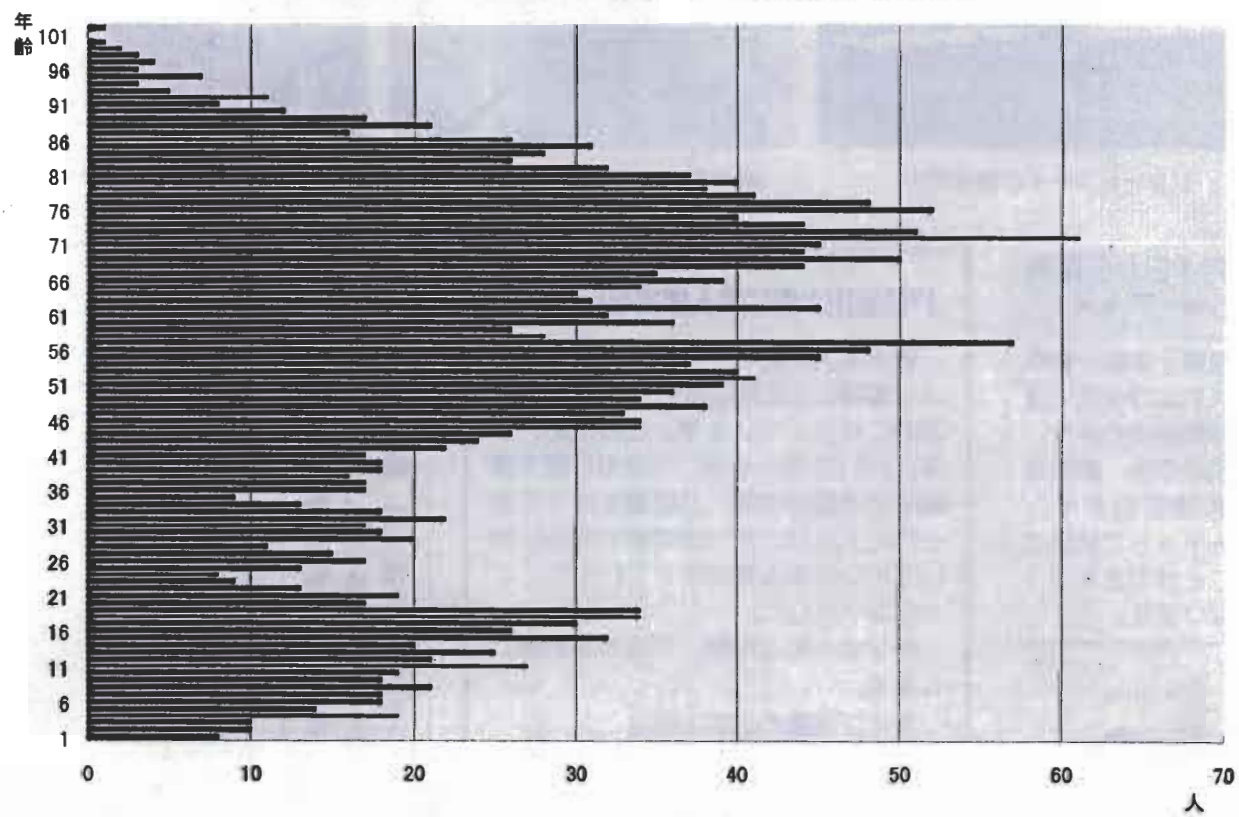
基金(貯金)残高の推移



※財政再建団体とは？

町の累積赤字額が標準財政規模の20%(海士町の場合は約4億6千万円)を超えた場合には、「財政再建団体」となり、法律に基づき、国の管理下で財政の建て直しを行うことになります。
財政再建団体への転落は、民間企業にとっての「破産」を意味し、国の管理の下、職員給の大幅カットや公共料金の大幅 値上げ、公共事業の凍結などが行われ、地方自治体の自主的・自立的な行財政運営は、大きく制限されることになります。

海士町の人口構成　(H15.12.31現在)



◆海士町は極端な少子高齢化で、人口のバランスが大きく崩れています。特に20代から40代前半に落ち込みがあり、これに伴って子ども達の数が減少する悪循環の傾向にあります。雇用の場・都会志向等社会的な影響であると考えられますが、この人口問題は島の存続に関わる緊急事態であり、生産年齢人口を増やし、人口構成バランスを改善する必要に迫られています。

＊1歳から3歳の合計が28人となっています。10数年後この子ども達が中学生になった場合、海士中学校全体で28人の生徒数になるという推計です。

痴呆性グループホーム諏訪苑新設
特養老人ホーム(短期入所)増床

昨年7月に着工していた社会福祉法人あま福祉会が運営する特別養護老人ホーム諏訪苑（村上菊之進理事長）の短期入所施設の増床と痴呆性グループホームの新設工事が完了し、4月8日に工事関係者や地元関係者約62名が出席し、竣工式が行われました。

このグループホームは、65歳以上の要介護者（軽度の痴呆性高齢者）で共同生活をすることのできる方が利用できる施設9床を新設。また、特養の短期入所（ショートステイ居室定員2名を9室）を増床したものです。

特別養護老人ホーム諏訪苑は、平成2年5月に島根県で初めて小規模特別養護老人ホームとして設立され今年で14年を迎え、地域福祉の拠点施設でもあります。今回のグループホーム新設並びにショートステイの増設は、待機者の解消や在宅介護支援対策に繋がり海士町の福祉の充実に寄与するものと大いに期待されます。

グループホーム　多目的ホール

ショートステイの増設部分

特老の広くゆったりとした廊下

グループホームの外観

6月1日から運用 e-TAX

国税電子申告・納税システムが全国で運用が開始されます。国税の申告・納税及び各種届出がインターネットで済ませることができるようになります。

戸籍届出の際に本人確認を行います

最近本人の知らない間に、第三者により婚姻などの届出がされる事件が全国的に発生しています。このため、今年、3月22日から窓口で婚姻や養子縁組などの届出の際には届書を持って来られた人には、身分証明書を提示していただいて本人確認させていただくことになりました。

みなさんのご理解、ご協力をお願いします。

◇身分証明書の必要な届出
　婚姻届、離婚届、養子縁組届
　養子離縁届
◇身分証明書
　運転免許証、パスポート等

問い合わせ先…生活環境課住民係
（TEL 2－1821）

海士町情報公開制度による開示状況

条例の規定に基づく平成15年4月1日から平成16年3月31日までの一年間、開示請求はありませんでした。

＊＊＊善意のともしび＊＊＊

米子市在住の佐々木克彦様・芳美様より「海士町千本桜実行委員会」に対し多大なご寄付を頂戴致しました。

この「海士町千本桜構想」は平成18年まで続く事業であり、海士町の後世に残す貴重な財産となります。この寄付金は、今後の本町の景観づくりのために有意義に使わせていただきたいと思います。紙上より厚くお礼申し上げます。

Cherry Cup in Ama

優勝 第19回隠岐島綱引き大会

男子：菱浦よしひくぞ～チーム　女子：東さわやかチーム

＊＊"春の元気"一番行事！＊＊

満開の桜のもと、第19回隠岐島綱引き大会が隠岐神社外苑において行われました。参加チームは一般の部に男女合わせ27チームと小学生の部に6チームが出場。

各チームは応援に工夫を凝らしてチームワークの良さをアピール。選手とギャラリーが一体となった勝負に場内が盛り上がりました。来年もまたさらにパワーを付けて、たくさんの方に参加していただくことを期待したいと思います。

今年も盛り上げました有木っ子チーム。西郷から5年連続出場。

われら同級生チーム。大阪、松江から綱引きに帰省!?　頑張れ！

今年は迷彩服で統一。応援にも"力"が入ります。

【大会の結果】

	1 位	2 位	3 位
男子の部	菱浦よしひくぞー	菱浦よしひくぞーTYPE B	宇受賀ヤッターマン
女子の部	東さわやか	隠岐島前高校	菱浦よしひくぞーレディーズ
小学生の部	浦小POWERS	チーム海士小	福井キッズ

公共事業の発注計画の公表について

平成16年度より海士町が発注する公共事業の発注計画を公表いたします。

工事名	施工場所	発注予定時期	主要工事内容
保々見港港湾施設改良事業測量設計業務委託	保々見地内	6月下旬	防波堤改良測量設計
海士港先端地区港湾環境整備工事	菱浦地内	6月下旬	突堤 L=73m
宇受賀漁港漁村づくり総合整備工事	宇受賀地内	7月中旬	防波堤上部工及び消波ﾌﾞﾛｯｸ製作設置
宇受賀漁港漁村づくり総合整備工事	宇受賀地内	8月上旬	集落道路及び防災安全施設整備
宇受賀漁港漁村づくり総合整備工事	宇受賀地内	12月上旬	舗装工事 3,000m2
高石漁港地域水産物供給基盤整備工事	東地内	5月中旬	ｹｰｿﾝ2函据付・被服ﾌﾞﾛｯｸ据付他
菱浦漁港漁業集落環境整備工事	菱浦地内	7月上旬	4号集落道
菱浦漁港地域水産物供給基盤整備測量設計業務委託	菱浦地内	6月末	航路浚渫測量設計
特環 下水道管布設工事(海士港)	菱浦地内	10月下旬	150mm管 L=900m
特環 下水道管渠布設工事(福井)	福井地内	6月中旬	150mm管 L=1,400m
特環 下水道管渠布設工事(中里)	中里地内	10月下旬	150mm管 L=900m
特環 汚泥処理施設設計業務委託	浄化ｾﾝﾀｰ	6月上旬	ミックス事業
特環 汚泥処理施設工事委託	浄化ｾﾝﾀｰ	6月上旬	ミックス事業
特環 管渠設計業務委託	菱浦地内	6月中旬	海士港関係
浄化槽整備事業	上方地区	7月中旬	合併浄化槽設置工事 15基
林道開設事業 家督線	福井地内	7月中旬	L=500m 舗装工 法面保護工
林道開設事業 宇津屋線	御波地内	7月中旬	L=200m 土工 排水工 路盤工 法面保護工
特環 福井地区単独管渠布設工事	福井地内	12月中旬	150mm L=400m
宅内排水工事	海士方地内	12月中旬	公共施設関係
町道保々見線舗装改良工事	保々見地内	8月上旬	
海士町農林水産物処理・加工施設工事	菱浦地内	7月下旬	農林水産物処理・加工施設一式 761㎡
海士町地域資源活用施設工事	保々見地内	7月下旬	塩精製施設一式 288㎡
畜産関係支援事業		6月上旬	放牧地整備
水産物流通高度化事業		6月上旬	海水処理施設殺菌冷海水供給装置
外壁補修塗装工事	中里地内	9月上旬	隠岐開発総合センター外壁補修塗装工事
海士町民具展示館建設工事	中里地内	9月上旬	
定住促進住宅整備事業	北分地内	7月中旬	木造平屋住宅2戸

定時チャイムの曲 ご存じですか？

防災行政無線の整備は完了間近となりました。今、流している定時チャイムは、町民の皆さまからご好評いただいているとお聞きしました。

朝6時30分とお昼12時に流れる曲は、「海士町民の歌」で、また、夕方5時に流れる曲はお馴染みの「キンニャモニャ」です。そこで海士町民の歌(歌詞)を紹介いたします。口ずさんで見て下さい。楽譜の必要な方は役場総務課までお問い合せ下さい。

(総務課広報係 ②―0115 直通)

海士町民の歌

作詞 宮田 隆
作曲 秋山竜英

1. 潮路はるかな 日本海
群島隠岐の 中の島
寄せくる波もかがやきみちて
生産の歌 はつらつと
みよ海士町は ここにあり

2. 森の木立は 承久の
昔を語る 後鳥羽院
自然と文化 とけあうところ
観光の夢 うつくしく
いまふるさとの 幸をよぶ

3. 心ひとつに むすびあい
理想をめざす 町づくり
港に里に いぶきも若く
躍進の意気 たからかに
わが海士町よ 栄えあれ

みなさんよろしくお願いしま～す。

第6期 商品開発研修生紹介

今年で商品開発研修生募集も6年目を迎えました、毎年全国からたくさんの方々が応募しています。その中から第6期生として3名の方が選ばれ、海士町のまちづくりに一緒に取り組んでいるところです。特に商品開発研修生には、海士町を舞台に特産品あるいは、観光商品に至るまで全てを素材にした商品の開発を手がけていただき、地元にない発想を提案してもらいたいと期待しています。

斎藤（さいとう）　由紀（ゆき）さん（千葉県出身）

料理を作ること、食べてもらうことが大好き！

海士へ来て3ヶ月の間に風の匂いと海の色が変わり、野菜や魚の顔ぶれも少しずつ違ってきました。仙台で生まれ育ち、その後東京、千葉と東日本しか知らなかった私にとっての西日本。調味料から食材までが目新しく珍しいものに感じられます。

研修生として、「船渡来流亭」の新メニューの開発や地元の食材を生かした食品の開発を担当しています。料理を作ること、食べてもらうことが好き。「食」を通じてみんなに笑顔になってもらえたら、と思っています。島のみなさんよろしくお願いします！。

豊政（とよまさ）　幸司（こうじ）さん（大阪府出身）

やりたいと思うことは何でもチャレンジ！

商品開発研修生として何か考えつつ過ごさなければいけない身なのだが、島暮らしを大いに楽しんでしまっている今日この頃。面接の時、この島で何かやりたいか？と問われ「わかりません」と答えた。「まず海士町を知ることから始めます。」と。とりあえず楽しまなければ始まらない。やりたいと思うことは何でもチャレンジしてやろうと思っている。海士町の暮らしは、緩やかな時と豊かな感性を与えてくれることだろう。贅沢をいうなら、人であれ、仕事であれ、何であれ、ひとつの幸せな出逢いができれば幸せである・・・な。

楠木千代香（くすのきちよか）さん（岡山県出身）

ドライブが大好き！ちょこちょこ出かけ色々な人と知り合いたい。

こんにちは。2月に岡山から来ました。海士で暮らし始めて3ヶ月。風の強さに驚いたり、今まで自分が知らなくてもよかった事がここではそうではないんだなぁ、とシュンとしたり・・・そうしながら今日に至っています。私はドライブが好きで、たまに島中をグルグル走り回っています。お陰でお気に入りのお昼寝スポットを見つけられました。これからも色々な人と知り合って、ちょこちょこ寄り道しながら島の暮らしぶりを知っていけるといいな、と思います。

議会だより

3月定例会

第435回定例会が3月10日に招集され、11日間の会期日程で開催されました。初日は、町長の所信表明並びに提案理由の説明の後、引き続き5名の登壇により、一般質問が行われました。

なお、町長より提出された議案は、15年度補正予算6件、16年度当初予算8件、条例改正19件、人事案件1件、その他一件で、各常任委員会審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

補正予算

●一般会計・特別会計併せて3、191万9千円を追加し、総額を70億2、81

1万3千円となる。

当初予算

●一般会計・特別会計併せて総額を68億2、828万6千円となる。

条例改正

●特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正

●職員の旅費に関する条例の一部を改正

●町長・助役及び教育長の給料月額の特例に関する条例の一部を改正

●職員の給与に関する条例の一部を改正

●特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正

●議会議員の報酬及び費用弁償の額の特例に関する条例の一部を改正

▽町長・助役・教育長、一般職員の旅費（船賃・日当）の改正。
▽議会議員の旅費（船賃・日当）の改正。
▽給料月額及び報酬の削減をそれぞれ改正。
町長　30％カット
助役・教育長20％カット
一般職員　5％カット
（医師を除く管理職にあっては20％カット）
教育委員20％カット
議会議員20％カット

●海士町保健センター設置及び管理に関する条例の一部を改正

●海士町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正

運営諸経費の増加などにより、使用料の一部改正また生ごみ袋等の料金について改正を行う。

●海士町国民健康保険条例の一部改正など11件

法律改正および組織機構改正に伴う課名の変更を行う。

その他

●海士町過疎地域自立促進計画の変更について

既存計画に計上されていなかった産業振興施策事業・定住対策事業等の追加及び改正を行い、第4次計画とするものである。

人事案件

●海士町教育委員会委員の任命について

村尾周委員の任期満了に伴い、海士町大字海士1089番地10　山中知子（昭和12年1月29日生）さんが、満場一致で同意されました。

議員発議

●議会活性化特別委員会設置。

海士町が自立の道を決断したことに鑑み、議会活性化を図るため、調査・研究をする。

▼委員定数　5人

▼委員の任期
調査・研究終了までの期間

委員長　古濱　正之
副委員長　上田　正子
委員　石塚　仁志
委員　柏原　廣行
委員　寺下　雅人

一般質問

上田　正子　議員

受動喫煙防止のためのたばこ対策について町長・教育長にお伺いしたい。

町長答弁

役場庁舎内では、来庁者には玄関横ホールにて対応し、職員用には3月より2階喫煙室の一ヶ所のみとしている。キンニャモニャセンターでは、2月1日より館内禁煙とし喫煙場所を館外に指定場所を設け既に実施している。なお、昨年6月の区長会に於いて、法律の趣旨を説明し地区公民館での分煙と禁煙を勧めたところである。今後もその他の公共施設での趣旨説明の徹底もふくめて、引き続き啓発していく。

教育長答弁

管内学校においては、分煙を実施している学校1校。喫煙コーナーを設けている学校2校。学校敷地内全面禁煙は未実施であり今後検討を要する。隠岐開発総合センターに於いては、禁煙コーナーを2ヶ所設け分煙化を実施している。完全分煙化に向けて、ワンルームのみの喫煙場所を検討中である。

キンニャモニャセンターの自転車置場について、屋根囲いのある駐輪場に整備する考えはないか伺いたい。

町長答弁

置き場所は指定してあるが屋根囲いの駐輪場はなく雨天時には利用者に不便をかけている。また外見上からも良いとは思っていないが、財政的な面から直ぐという約束はできないが見積り等とってみて検討していきたい。

高松　照佳　議員

隠岐島後法定協議会の新町名称について、島前3町村の官民組織の活動状況を伺いたい。

町長答弁

島前地域住民に対し「反対する会」の設立の趣旨と協力依頼をチラシにして2月末に新聞折り込み、3月1日には島後地区住民に向けたチラシを新聞折り込みで流した。署名活動については、集約したものを田仲会長他4名の方々が要望書と共に島後まで出向いて島後法定協議会会長に直接渡した。同時に4町村長及び、議会議長宛の要望書も提出。翌日は協議会の場で趣旨説明。他に「反対PR看板」を各町村の隠岐汽船ターミナルに設置、以上のような活動状況ですが、最後まであきらめず訴えていきたい。

グラウンドゴルフ後鳥羽んさん杯の助成全額カットについて、住民の健康増進、観光振興の為にも継続するべきではないか伺いたい。

町長答弁

財政的にも底をついた事で平成13年度で廃止するという結論を出したが、強い要望があり他の補助を少しずつ削減しながら今日まで助成してきた。いよいよ財政事情も悪化し3S事業も切られた。

平成16年度の予算編成にあたってどこかを切らないと財源が出てこない。従って自分の趣味、健康づくりについては、自己負担で行うべきではないかと考える。そうした趣旨で基本的な原則に立って全てカットしている。

その辺のところをご理解いただきたい。

県営ふるさと農道整備事業の進捗状況について伺いたい。

町長答弁

平成16年から19年度までの4カ年で計画路線の完成を目指しているが、財政状況の悪化により一括発注として経費の縮減を図りながら実施していく。今年度前半に用地の買収を終え年度末に工事発注の予定。

日須賀～多井、崎地区への道路建設計画の進捗状況について伺いたい。

町長答弁

県事業として、補助事業の採択が大変困難である。早期着工に目処をつけるには「代行事業」の選択しか残っておらず決断を迫られているが、現在、県と調整中である。

農林水産加工施設整備について、この経営計画について伺いたい。

町長答弁

母体等については、限りなく行政で立ち上げていく。現段階では体制面については申し上げられない。一方でプロパー的なものを養成しながら運営していくという程度しか本日は申し上げられない。ただ、試算的にみても、これが軌道に乗れば少なくとも２０人位の雇用の確保はできると思う。今こそ住民と行政が一緒になって行う時期だ。まだ数字的なことを示す段階には至らないが民間の人の知恵を借り、生命(いのち)をかけてやるしかない。

中村　等光　議員

海士町では69台の軽自動車、普通車他が使用されているが、適正台数及び経費等について伺いたい。

町長答弁

特殊車輌及び特殊自動車については必要最小限に配備しているところであり、町長公用車そのものは廃止した。一般事務用の車輌も平均一課に一台を保有しているのが現状。決して多すぎるという状況ではなく自家用車を利用するケースも見受けられる。乗車率の問題は個々に事務分担を持ち業務をこなしている中で、普通一人で乗ることがあたり前。乗車率の問題と経費削減は分けて考えるべきである。

海士町の観光客の宿泊数と観光協会のあり方について伺いたい。

町長答弁

統計的には4月～7月まで8、０００人が海士町に泊まった計算になっている。これは自己申告によるもので観光協会が斡旋したものでない。内1、８００人が観光協会を通したものでその内1、１９３人がホテルである。議員が言われる「地区に偏っているのではないか」という事については確かに見方によっては色々問題があろうかと思うが、お客様の要望が、港に近い所、ダイビングスポットに近い所、送迎のある宿等々がポイントになっているようだ。そういうことでご理解をいただきたい。

今後の公共事業の削減による二社の現状を正確に把握して分析することが重要だと考えるが、町長はどのように受けとめているのか伺いたい。

町長答弁

海士町管内の公共事業では平成13年度32億円、14年度22億円、15年度21億円、新年度については25億円の予定である。必要な公共事業には、限りなく今まで以上に力を入れて行くという強気の姿勢で望みたいと思っており、県の理解も得られている。業界の苦しさというのは良く存じているが、会社の分析等行政が入って云々いうべきことではない。ただ、地元企業が参入する「特区」の関係だが、地元企業の意欲による異業種参入であり、これに対して、島根県が企業参入モデル事業補助金により支援するものであり、従って町費による金銭的支援はしていない。しかし、「構造改革特区」については農地の貸し借りを伴うものであり町としてできる限りの支援を考えているので誤解のないようお願いしたい。

古濱　正之　議員

観光案内版の設置について再三質問いたしているが、平成16年度の予算にも計上されていない様だがどのように考えているのか伺いたい。

町長答弁

満足のいく看板を作るには相当な金額がかかるということで実は見送っているのが現実である。現在、島前3町村共同で観光ガイドマップができており、わかりやすいものになっている。看板に即変わるものではないが、一方では補完的なこともやっている。予算計上ができないという状況の中でご指摘は率直に認めながら看板が必要であるという認識はもっているのでご理解をいただきたい。

防災訓練の実施について約束どおり実施するか伺いたい。

町長答弁

防災無線が完備されたので実施しなければならないが、4月中は町政座談会を予定しており終わり次第実施したい。

花岡　美近　議員

町長が考案されている「生き残りをかけた新しい町づくり」について今後の施策と概算で良いが収支について伺いたい。

町長答弁

今産業を立ち上げることが一番の生き残りの道だと思っている。CASという冷凍システムを入れただけで生き残れる訳ではない。それは一つの「きっかけ作り」であり我々がどれだけ拡大していくかこれからの問題である。また、CASによる農水産物加工施設については、一応2年で方向性を出し、3年目には完全に軌道に乗せる考えである。収支的には最低でも約2億2千万円位の収益を得て、約20人の雇用を試算している。いずれにしても180度の意識改革を求めているところである。何かとご支援をお願いしたい。

キンニャモニャセンター内外問わず安全点検を含め、今後の実施計画を再度伺いたい。

町長答弁

公共の建物なので特に安全面については今後も点検をしながら進めていきたい。この建物に向かって右から入ると2階へ上がる階段がありその奥にはエレベーターがあるが普段なかなか気がつかない。早速「ご利用下さい。」という表示を作成させた。今後さらに皆様に親しまれ愛される建物にしていきたい。

本町の人口は年々減少の一途を辿っており、極端な少子高齢化が顕著である。少子化対策についてどのような施策を考案しているか伺いたい。

町長答弁

現在実施している少子化対策は、第3子の保育料の軽減と放課後児童クラブ、そしてチャイルドシート購入補助である。新年度にエンゼルプランを策定することとなっておりアンケートを実施し、そのニーズを基にした計画の策定をしていきたいと思っている。

また、交流促進課に定住係を新設し、公営住宅の一括管理等住宅施策を中心に定住施策を進め、少子化対策を含めた人口問題の解決に繋げる施策を展開したい。

2月臨時会

第434回臨時会が2月27日に招集され、1日間の会期日程で開催されました。

町長より提出された議案は、条例改正1件で、審議の結果、原案のとおり可決されました。

●海士町課設置条例の全部を改正する条例について

平成16年4月1日付けで予定している課の再編に関して、現行の海士町課設置条例を全部改正するものである。

第435回 3月定例議会傍聴感想記

海士町第435回定例議会傍聴の機会があったので感想を申し述べたいと思います。

補助金削減・税源移譲・地方交付税見直しを同時に進める三位一体改革を推し進める中、国の地方財政計画で「三位」の中の地方交付税が、税を巡る議論が無いがまま、見直しだけが予想を上回るカットに「闇討ち」（鳥取県片山知事）とまで怒りの声が上がる中で、国からの補助金や地方交付税が減った上に、都道府県も「市町村向けの補助金を削減」しており、より身近な行政サービスを担う市町村ではその影響は都道府県以上に大きく、県内59市町村の新年度当初予算規模は、実に半数以上の34市町村が対前年当初比マイナス予算が組まれる中で、町長所信表明で述べられている様に財政事情極めて厳しい中で強気とも言える、対前年度比プラスである「やる気の予算編成」を組まれた事は、町民の一人として非常に心強い思いが致しました。これはひとえに町長を筆頭に全職員に至るまでの日頃の並々ならぬ努力の結果であると評価できるものと考えます。

島根県においては、平成18年度に財政再建団体（過去2例・・青森・和歌山）への転落が危惧される中での本町に於いては、『自立促進プラン』に基づき財政再建団体への転落は回避される見通しであり、将来への見込みを含めた、住民への情報提供を進めると共に、更なる事務事業の効率化等適切財政運営を望む次第です。

少子高齢化対策・雇用の創出等難問が多々ある中で決して予断を許されない状況での町政運営は前途多難と思われますが、今後の一層の町活性化と限りなき前進に努力される事を期待すると共に、町民の一人としてどれだけの協力ができるかを考えさせられた町議会であった。

日須賀　松田修一

教育だより

入学おめでとう

ピカピカの１年生

大きくなったら何になりたい？

新しいランドセルを背に、ニコニコ笑顔で元気に登校しています。
地域のみなさん、声をかけてあげて下さいね！

福井小学校へ６名入学

沼田　啓佑くん（中里）
学校の先生

佐々木　梓沙さん（福井）
看護師

山崎　竜星くん（菱浦）
消防士

海士小学校へ９名入学

竹中　智紀くん（東）
仮面ライダーファイズ

田口　辰海くん（崎）
バイクのレーサー

亀原　光正くん（中里）
消防士

濱中　公太郎くん（中里）
消防士

宇野　由華さん（北分）
保育士

千田　翔くん（北分）
サッカー選手

大野　龍二くん（東）
まだ決まってません

飯古　光輝くん（東）
おもちゃ屋さん

藤田　真帆さん（宇受賀）
お花屋さん

柏原　礼奈さん（宇受賀）
学校の先生

滝川　七海さん（宇受賀）
バレーの選手

真野　海成くん（北分）
お父さんみたいなお船の人

学校・新教員の紹介

どうぞ よろしくお願いします。

＝福井小学校＝

児童数62名　保護者数50名

教育目標

豊かな心を育み　最後までやりぬく主体的な児童の育成

子ども像

◆(豊かな心)思いやりのある子
◆(主体的な児童)進んで学ぶ子
◆(やりぬく意志)強くたくましい子

☆努力目標

1 思いやりのある子を育てる
① 友の良さと自分の良さが分かる子ども
② 郷土と学校に誇りを持つ子ども

2 進んで学ぶ子を育てる
① 疑問を持って追求する子ども
② 生き生きと活動する子ども

3 強くたくましい子を育てる
① 根気よくがんばる子ども
② 希望を持って学びつづける子ども

校長　細川（ほそかわ）　謙二（けんじ）

濱（はま）　典子（のりこ）

＝海士中学校＝

生徒数77名　保護者数72名

教育目標

「21世紀を心豊かに
たくましく生きる人間の育成」

◆自ら進んで学ぶ生徒(進取・自学)
◆思いやりのある生徒(友愛・感謝)
◆明るくたくましい生徒(健康・自立)
◆力を合わせて働く生徒(協力・勤労)

「かしこく
やさしく
たくましく」

教頭　真野（まの）　幹（みき）

＝海士小学校＝

児童数58名　保護者数39名

教育目標

心身ともに健康で、人間性豊かな〈海士の子〉を育てる。

◆考える子
◆助け合う子
◆元気な子

校長　濱田（はまだ）　哲男（てつお）

飯塚（いいづか）　順子（じゅんこ）

平田（ひらた）　由美恵（ゆみえ）

古田（ふるた）　真一朗（しんいちろう）

葛西（かさい）　秀也（ひでや）

田村（たむら）　千絵（ちえ）

中曲（なかよし）　有希子（ゆきこ）

濱（はま）　淳平（じゅんぺい）

井奥（いのおく）　昇（のぼる）

隠岐島前高校だより

◇◆平成15年度進路状況報告◇◆

本校進路指導の特色は、全校の生徒数が少人数である分だけ、より綿密な指導ができ、個々に応じた対応がとれるということである。本人の希望校種に応じて、各教員がほとんどマンツーマンに近い形で指導している。進路指導の態勢としては、理想的である。

そんな中、生徒は自分の進路目標に向かって、真剣に取り組んでいった。そして得られた結果が表に示すものである。この結果は、個々の成果であると同時に、卒業生全体の成果であるともいえる。様々な困難を皆のチームワークで乗り切ってきたということである。受験といえば、個人の問題と考えがちだが、クラス、学年、ひいては学校のチームワークが問われているのである。このことを強調しておきたい。

（進路指導部長）

1. 4年生大学

校種	学校名	学部名	学科名	合格者数
公立	山口	教育	表現情報処理	1
	大阪市立	法	法	1
	島根県立	総合政策	総合政策	2
	小計			4
私立	明治学院	心理	心理	1
		法	法	1
	青山学院大学	法	法	1
	中部	工	電気システム工	1
	花園	文	史	1
	大阪学院	経営科学	経営科	2
	大阪商業	総合経営	経営	1
	近畿	工	情報システム工	1
	相愛	文	現代社会	1
	帝塚山	経営情報	経営情報	1
	岡山商科	商	産業経営	1
	くらしき作陽		栄養	1
	広島工業	工	電気デジタルシステム工	1
	徳島文理	文	文化財	1
	小計			15
合計				19

2 短期大学

校種	学校名	学科名	コース・専攻名	合格者数
公立	島根県立島根女子	保育		1
	島根県立看護	看護		1
私立	東大阪大学短期	家政	食物栄養学	1
	大阪青山短期	幼児教育		1
	鳥取短期	幼児教育		3
合計				7

3. 専門学校

学校名	コース・専攻名	合格者数
京都YMCA国際福祉	介護福祉	1
辻調理師	食品学調理師本科	1
大阪ベビイ動物看護	動物看護	1
辻学園調理技術	調理	1
大原簿記	税理士スタンダード	1
兵庫科学技術	自動車工学	1
修成建設	建築	1
松江医療福祉	介護福祉	1
	視能訓練士	2
松江理容美容	美容	1
	理容	1
松江情報ビジネスカレッジ	経営短大	1
国際医療福祉総合学院出雲校	介護福祉	1
国立浜田病院付属看護	看護	1
四国職業能力開発大学校	住居環境	1
日本海洋科学	アクアサイエンス	1
合計		17

4. 就　職

所在地		事業所名	職種	合格者数
県内	松江	有限会社マッシュ企画	美容	1
	玉湯	株式会社長楽園	旅館業	1
県外	鳥取	株式会社皆生グランドホテル	ホテル	1
		丸京製菓株式会社	菓子製造	1
		株式会社セツ	遊戯場	1
	広島	後呂和裁学院	和裁	1
合計				6

海士町クリーン作戦

一人ひとりの心がけがきれいな町、住みよい町を創り出す

粗大ゴミも含め230kg！

～第3回実施報告～

3月27日（土）に御波地区と多井地区を実施致しました。天候にも恵まれ、御波区より子どもさん2名を含め27名の応援と役場の職員、そして会員7名の総勢36名の参加を頂き道路脇や崖下に捨てられた空き缶、ビンにペットボトルや壊れた自転車に椅子等230kgを収集し作戦を終了しました。

次回は、崎、知々井、保々見地区を順次巡回致しますので皆様のご協力をよろしくお願い致します。

（会長　片山雅夫）

後をたたない空き缶等のポイ捨て

海士町家族会報告

賛助会員に248名

一昨年3月、国、県及び町の多大なご支援の下に、精神障害者の社会復帰を図るため共同作業所「さくらの家」を開所、以来地域の方々のご協力を得て、漸く運営も軌道に乗りつつあり、深く感謝しているところです。

現在、作業所では本町の特産物である岩ガキやアラメの養殖用具作りや廃油石鹸・牛乳パックリサイクル製品・弁当袋等の自主製品作り、また、草取り作業等を行っておりますが、お陰様で通所者も地域の一員として役割を果たすようになり、また、指導員も鋭意努力しているところです。

海士町家族会では、今後この作業所の円滑な運営と充実を図るためには、地域の皆様の支援と努力が不可欠であることから、昨年8月1日付で本会の趣旨に賛同する有志の方々を賛助会員として募りましたが、その結果、昨年12月末現在で248名の方々のご協力を得、年会費（準会員一口千円）も総額41万7千円と予想以上に集まり大変心強く思っているところです。

なお、この年会費の内、20万円は共同作業所に繰入れ、主として指導員等の研修費に充てさせていただきましたが、賛助会員の皆様には、後日、次年度計画書・予算書等に加え決算書をお届けすることになっています。

ここに改めて深謝し、今後一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

（家族会会長　田中久夫）

第27回関東海士後鳥羽会 開催のお知らせ

関東在住の海士町出身者が年に一度集う関東海士後鳥羽会が27回目を迎えます。

この会は、海士出身者の懇親の場ですが、ここ数年は海士中の同期会の場にも活用いただき、今まで一度も参加されなかった方も徐々にご参加下さるようになって来ました。海士からの来賓の方々は、現在の郷土の様子をそれぞれのテーブルにつき、海士の言葉で伝えてくれます。盆踊り、キンニャモニャ等の余興もあります。各自、同期の方々等と連絡を取り合いご参加下さいますようご案内申し上げます。

ご案内

▼日　時　平成16年6月6日(日)
　午前11:30～午後3:00
▼場　所　ホテル海洋(大久保駅前)
▼会　費　男性…10,000円
　女性…8,000円
　(ご夫婦…16,000円
　学生／80歳以上…5,000円)
▼お問い合せ先　古谷修一
　TEL 0426-35-6878

第132回商工会珠算検定合格者

1級　吉元　翔汰（菱浦）
〃　上田　千晴（中里）
2級　永原　久子（福井）
〃　尾嶋　美咲（福井）
3級　村上　千仁（福井）
〃　中川　貴史（東）
4級　仲島　愛（御波）

1級合格者

吉元翔汰くん

上田千晴さん

第227回全珠学連珠算検定合格者

1級　秋月　光（中里）
〃　銭谷　和樹（宇受賀）
2級　山中　雄介（北分）
4級　柏原　正吾（宇受賀）
4級　柏原　光（宇受賀）
5級　山崎　理沙（菱浦）
〃　吉元　麻湖（菱浦）
〃　増谷　実香（菱浦）
〃　中川　慎哉（東）
6級　宇野　綾華（北分）
7級　沼田　菜那（中里）
〃　子隅菜々美（福井）
〃　渡辺　健吾（福井）
〃　藤田　理子（北分）
〃　宇野　誓華（北分）
8級　宇野　遥（北分）

1級合格者

秋月　光くん

銭谷和樹くん

第183回全珠学連暗算合格者

3級　仲島　愛（御波）
〃　川本　貴保（福井）
4級　柏原　正吾（宇受賀）
〃　佐藤　太陽（東）
5級　沼田　菜那（中里）
〃　子隅菜々美（福井）
〃　渡辺　健吾（福井）
〃　中川　慎哉（東）
6級　宇野　綾華（北分）
〃　藤田　理子（北分）
〃　宇野　誓華（北分）

駐在さん　こんにちは！

知々井駐在所に着任

3月の異動で赴任されました山本さんです。地域の皆さんよろしくお願い致します。

山本幹夫
巡査部長

おくおく海士（あま）っこ

島根　海正（かいせい）くん（0歳）
平成15年9月6日生まれ
茂樹さん・ゆきさんのお子さん
（御波在住）

いつもニコニコ笑顔のかいくん、これからもその笑顔でみんなを明るくしてね！

このコーナーでは、就学前までのお子さんを紹介しています。写真とコメントを添えてお送り下さい。お待ちしています。

問い合わせ先：総務課広報係
℡2－0115

戸籍の窓

2/1～3/31届出分（太字は地区在住者）

すこやかに

北峯　遼人くん　良樹　菱浦
熊本　愛樹ちゃん　直宏　中里
熊谷　大地くん　佑樹　北分
駒月　結良くん　秀成　東
佐古　葉月ちゃん　順一　崎

しあわせに

（金　勝也さん　山本　優美さん　東）
（**吉川　学さん　橋本さおりさん**　菱浦　中里）
（山根　聡さん　野津みゆきさん　宇受賀）
（羽山　慶紀さん　岩田　文枝さん　中里）
（大田　嘉信さん　門脇喜美子さん　北分）

やすらかに

冨谷　正三さん　保々見　**89歳**
山河　孝亘さん　福井　**62歳**
松野　繁雄さん　東　**79歳**
佃　ミヤ子さん　西　**78歳**
山戸　チヨさん　崎　**75歳**
村越　榮さん　西　**80歳**
下田　邦彦さん　中里　**87歳**
坂谷　チヨさん　豊田　**88歳**
小泉　龍造さん　保々見　**91歳**
神田　荘作さん　東　**68歳**
石山　蝶さん　東　**94歳**
平田スミ子さん　御波　**74歳**
平田　義房さん　御波　**76歳**
村上　貞夫さん　西　**76歳**
小泉ナツ子さん　崎　**90歳**
澤谷　岩雄さん　崎　**75歳**
新谷オクラさん　多井　**99歳**

（山本　昭一さん　日須賀）
（福田　三幸さん）
（佐々木　勝さん　熊本　理恵さん　中里）
（中嶋　尚之さん　波多　敦子さん　東）
（白川　智久さん　工藤絵梨果さん　東）
（山中　祐造さん　梶原　慶子さん　中里）
（芝山　正憲さん　佃　紅美さん　西）
（岩田　貴充さん　上野　美幸さん　御波）
（青柳　修さん　磯野　愛子さん　御波）

紙上からお礼

●香典返し
金一封　吉岡　光代様　大阪市
金一封　道橋　健一様　松江市

●寄付金
金一封　斎藤チトリ様　菱浦
金一封　鴨田　庸様　宝塚市
金一封　大野由喜代様　中里
金一封　坂谷　鶴若様　豊田
金一封　村越　一英様　西
（海士町社会福祉協議会・特別養護老人ホーム諏訪苑より）

●広報郵送料
金一封　道橋　健一様　松江市
金一封　黒田　恭平様　加古川市
金一封　佃　清江様　大阪市
金一封　上谷　明人様　神戸市
金一封　岡田　良一様　鶴ヶ島市
金一封　中山　良久様　滋賀県
金一封　吉田　昭寿様　横浜市
金一封　井藤　正彦様　西郷町
金一封　林　和子様　宇治市
金一封　松野　俊夫様　堺市
金一封　中山　毅様　奈良県
金一封　湊　勇様　境港市
金一封　福島　三男様　大阪市
金一封　山中　慎嗣様　松江市
金一封　蔵谷　道子様　境港市

金一封　佃　徳三郎様　西
金一封　下田ハルカ様　中里
金一封　小泉トシエ様　保々見
金一封　福島　常義様　宇受賀
金一封　野津　茂様　多井
金一封　富谷　洋様　保々見
金一封　山河　喜雄様　福井
金一封　松野キクエ様　東
金一封　田中　久夫様　東
金一封　村越　一英様　西

●見舞返し
金一封　村上　昭子様　西
金一封　青木カズミ様　豊田
金一封　内藤　初枝様　東

町政の経営指針　自立・挑戦・交流　～そして限りなき前進～